

やさと雲龍石を使い 手加工で「五輪塔」を製作

栃木県・(有)精工石材店・鈴木康晶氏

自然の石目模様を活かす
ノミ切り仕上げの温かみ

茨城県産「やさとみかげ」は淡い青味を帯びた色合いが特徴で、墓石・外柵材としてはもちろん、建築用の大材としても幅広く重宝されている。この「やさとみかげ」の採掘元である(株)石原石材(石原且久社長)では昨年「やさとみかげ」の中で独自の石目模様を持つ素材を選別し、「やさと雲龍石」という新ブランドとして販売することになった。

「やさと雲龍石」は自然が織りなす石目模様特徴で、貴重な天然資源である「石材を大切に」というコンセプトも

込められている。既に外柵材として使用・建立された事例も複数あり、お施主からも高評価を得ているという。

今年1月、この「やさと雲龍石」を使用して、手加工(ノミ切り仕上げ)で製作された五輪塔が完成した。五輪塔を製作したのは、昨年2月に開催された「第31回技能グランプリ・石工職種競技」において金賞(第一位)に輝いた鈴木康晶さん(栃木県(有)精工石材店)。

「やさと雲龍石」は直接的に、この石を使ってノミ切り仕上げの五輪塔を作りたいと思っております。

これまで、流れ模様が入った石を加工した経験はなく、また、このような流れ模様の入ったノミ切り仕上げの石塔も見たことがありませんでした。そういつた誰もやったことがないようなことにチャレンジしたいという気持ちも製作意欲に繋がったと思います。

「やさと雲龍石」の記事中で、翌月に「やさとみかげ」の工場見学・情報交換を行なう「やさとの会」が企画されている。

これまで、流れ模様が入った石を加工した経験はなく、また、このような流れ模様の入ったノミ切り仕上げの石塔も見たことがありませんでした。そういつた誰もやったことがないようなことにチャレンジしたいという気持ちも製作意欲に繋がったと思います。

「やさと雲龍石」の記事中で、翌月に「やさとみかげ」の工場見学・情報交換を行なう「やさとの会」が企画されている。

「やさと雲龍石」の記事中で、翌月に「やさとみかげ」の工場見学・情報交換を行なう「やさとの会」が企画されている。

「やさと雲龍石」は自然が織りなす石目模様特徴で、貴重な天然資源である「石材を大切に」というコンセプトも

込められている。既に外柵材として使用・建立された事例も複数あり、お施主からも高評価を得ているという。

今年1月、この「やさと雲龍石」を使用して、手加工(ノミ切り仕上げ)で製作された五輪塔が完成した。五輪塔を製作したのは、昨年2月に開催された「第31回技能グランプリ・石工職種競技」において金賞(第一位)に輝いた鈴木康晶さん(栃木県(有)精工石材店)。

「やさと雲龍石」は直接的に、この石を使ってノミ切り仕上げの五輪塔を作りたいと思っております。

これまで、流れ模様が入った石を加工した経験はなく、また、このような流れ模様の入ったノミ切り仕上げの石塔も見たことがありませんでした。そういつた誰もやったことがないようなことにチャレンジしたいという気持ちも製作意欲に繋がったと思います。

「やさと雲龍石」の記事中で、翌月に「やさとみかげ」の工場見学・情報交換を行なう「やさとの会」が企画されている。

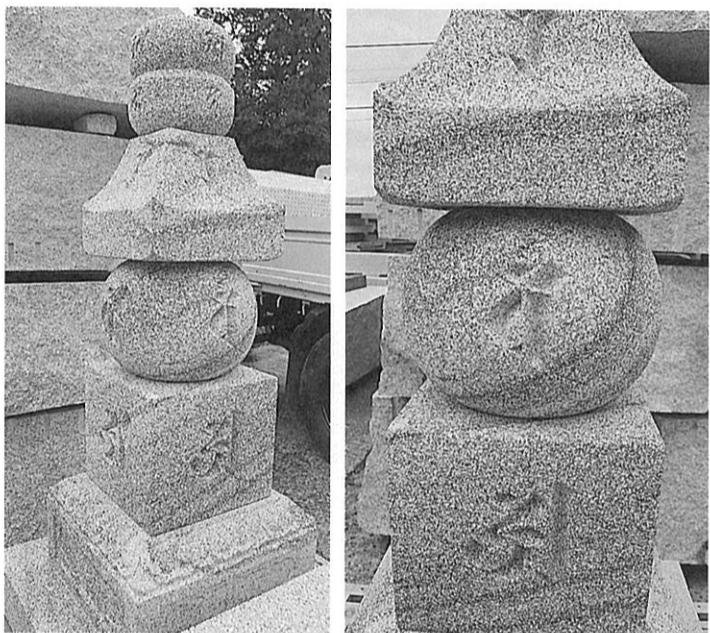
これまで、流れ模様が入った石を加工した経験はなく、また、このような流れ模様の入ったノミ切り仕上げの石塔も見たことがありませんでした。そういつた誰もやったことがないようなことにチャレンジしたいという気持ちも製作意欲に繋がったと思います。

「やさと雲龍石」の記事中で、翌月に「やさとみかげ」の工場見学・情報交換を行なう「やさとの会」が企画されている。

「やさと雲龍石」の記事中で、翌月に「やさとみかげ」の工場見学・情報交換を行なう「やさとの会」が企画されている。



写真左より(株)石原石材・石原且久社長、(有)精工石材店・鈴木康晶さん。
(株)石原石材・石原社長は「原石を納めたとき、面取りをどのようにするのか?」と聞いていましたが、さすがチャンピオン!模様の部分を上手く活かしてもらい、手加工も素晴らしいですね。同じものは絶対に出来ない、世界に一つだけの貴重な名品です」と完成した五輪塔を見つめながら笑顔で語っていた。



自然の石目模様を活かすノミ切り仕上げの温かみが印象的でもある



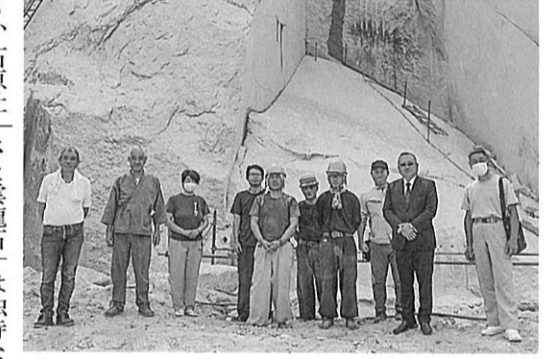
鈴木さんによる五輪塔の手加工風景



文字は薬研彫りで製作



茨城県産「やさとみかげ」の工場(石原社長がドローンにて撮影)



「やさとの会」での工場見学にて(昨年7月に撮影)

に仕上げたというよりは、偶然、このように出来上がったと言えるのかも知れません。そういった意味でも、原石を選んでいただいた石原社長の審美眼によるおかげだと思っております。

やさと雲龍石
ならではの石質
加工工程などについて教えてください。

鈴木 石原石材さんで原石を4つのブロックに切ってもらい、それをウチの作業場で、全て手加工で作っていただきました。形をつくる作業はエアーツールを使い、多量の現場で石工道具を使うことを意識し、全体をノミ切り仕上げで作っているほか、文字も手加工で薬研彫りにしています。他の仕事も行ないながら加工していただきましたので、概算にはなるのですが、作業時間の合計は、おおよそ260時間。1日8時間として計算していくと33日間になりますので、約1ヵ月かけて製作したことになります。

流れ模様の中で黒い模様になっている部分は雲母が集まっている場所のことです。

やっぱり作るのが好きなんです。稲田さんもお話されていましたけど、「石の作品は作り出すまで、一歩踏み出すのが怖いんです。でも、作り出してしまえばスッチが入って、早く完成させたい、早く完成した作品を見たいという気持ちになってくる」と、本当にその通りなんです。加工し始めるまでは時間がかかっても、いざ始めたら、早く完成させたくなる。この五輪塔づくりにのために、自分も仕事の合間を見つけては、作業場に行き加工していただきましたし、休みの日も作業場に行っている日が多かったですね。

技能グランプリへの出場が大きな転機に
鈴木 ただ、私の場合、このような意識へと変わったのは最近のことです。技能グランプリへの出場が大きな転機となりました。実際に参加している石工の方とお話したり、そのような方の新聞記事などを読み返していると、今も自社加工した墓石を販売・建立されている事例も多くあって、ものすごく刺激を受けました。自分も若い頃に岡崎(株)塚石材本店)で修業をしたのですが、実家に

また、五輪塔が完成して間もないので、気持ち的には、もう少し時間が経つてほしいです。次回、この反省点を活かしながら、「やさと雲龍石」を使ってノミ切り仕上げの宝篋印塔づくりにチャレンジしたいと思っております。

新しいことへ、いろいろとチャレンジしてみたいのですが、大きく変わったところだと思っております。

次に作ってみたい石塔を教えてください。
鈴木 五輪塔が完成した時には、ものすごく感動しましたが、改めて見直していくと、反省点もいくつか見えてきます。

また、五輪塔が完成して間もないので、気持ち的には、もう少し時間が経つてほしいです。次回、この反省点を活かしながら、「やさと雲龍石」を使ってノミ切り仕上げの宝篋印塔づくりにチャレンジしたいと思っております。

これから、自分自身が培ってきた石工技術を活かして、いろいろなものを作っていきたいと考えています。

◆(有)精工石材店
栃木県大田原市山の手2-13-14
TEL 0287-23-1483